

## 多発性骨髄腫の患者を対象としたフローサイトメトリによる微小残存病変の検出とその臨床的意義

### ・はじめに

当院では最新の治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。本臨床研究は当院の臨床研究倫理委員会で審査を受け、承認を得ています。

### ・研究の意義・目的

多発性骨髄腫は新規薬剤が登場した現在、治癒可能な疾患となりつつあります。多発性骨髄腫の治療が奏功した場合、骨髄中の微小残存病変の有無の評価が重要です。フローサイトメトリという技術の進歩によりさらに詳細に微小残存病変を検出できるようになってきています。本臨床研究ではマルチカラーフローサイトメトリによる微小残存病変の有無およびその臨床的意義を検討します。

### ・対象と方法

多発性骨髄腫と診断されたかたを対象とし、通常の効果判定の際の骨髄検査時に追加で検体を採取し、その骨髄液をマルチカラーフローサイトメトリを用いて解析します。

### ・個人情報の保護について

解析結果は個人に関わる重要な情報ですので、他人に漏れることのないように厳重に管理されます。あなたの血液などの試料や診療情報は、分析を行う前に、住所、電話番号、氏名、生年月日、カルテ番号など、あなた個人を特定できる情報をけずり、かわりに新しく番号をつけます。これを『匿名化』と呼び、日本赤十字社医療センター血液内科において『個人情報管理者』として指名された者が責任をもって行います。この番号とあなたとを結びつける対応表は、『個人情報管理者』が厳重に管理します。このような措置によって、あなたの血液の解析結果は、解析を行う研究者にも、誰のものであるかが分からなくなります。

### ・研究機関

日本赤十字社医療センター 血液内科・骨髄腫アミロイドーシスセンター 鈴木憲史 宮崎寛至  
〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話 03-3400-1311(代表)